

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第786号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)

●発行日—令和5年7月1日

●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会

〒060-0002 札幌市中央区

北2条西7丁目かでの2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

令和5年度 第1回ピアカウンセリング研修会(終了報告)

『ピアカウンセリングってね、 お互いに話し、聞き合うことなのよ』

ワークショップ(テーマ)：「自分自身と親との関係」

6月11日(日)、札幌市「かでの2・7」をホスト会場にハイブリット方式による、全道の本人会、そして当事者の皆さんを対象にした標記の研修会が開催されました。

参加者は会場・7団体・33名(当事者21名)、オンライン参加者・9団体40名(当事者29名)、全体では14団体(重複して参加の本人会有)、73名(当事者50名)もの皆さんが1時間半に及ぶ講演とワークショップに臨みました。

自分たちが主役の研修会

研修会の冒頭、主催する道育成会、佐藤会長からのメッセージが紹介されました。

「この事業は研修を運営するのに必要な諸経費を北海道が助成し、企画、運営を道育成会が担当する形で実施されてきました。これほど長く



主役の研修会。今日も元気に話を聞き、発言し、これからの暮らしや友だちづくりに役立てて欲しいと思います。」

また、講師は、すでに2回(令和元年6月・3年12月)にわたってお話をいただいた「安積遊歩(あさかゆうほ)さん」です。

1983年、アメリカのバークレー自立生活センターで研修を受け『ピアカウンセリング』を我が国に紹介されたことで有名です。その後、たくさんの著書を出版され、優生思想、地球環境、原発や平和の問題等について積極的に発言をされています。

ピアカウンセリング、そのポイント
はじめに20分ほど「ピアカウンセリ

ング」についてわかりやすくお話をいただきました。

【話し手は、何を話してもいいのです】
相手に話したいこと、笑っても

泣いても、あくびをしても良いのです。気持ちと体は繋がっているのですから。でも相手を傷つけたら、責めたりしてはいけません。

【聞き手は、一生懸命聞くことが大切です】
相手の話を決めつけ、自分の意見を押し付けることは良くないこと。聞き手は自分が幼かった頃の柔らかな気持ちに戻って、黙って話を聞く。一生懸命、聞いてほしいのです。

その後「自分自身と親との関係」がテーマとして指示され、参加者は二人一組になってカウンセリングを体験しました。

【参加者から寄せられた感想】

- ・お互いの話を聞き、とても勉強になった。(本人)
- ・講師の人の考え方はすごいと思った。実現したら本当に住みやすくなると思う。(本人)
- ・だんだん分かってきた。続けてほしい。(本人)
- ・普段思っていることや抱えていることを聞けてすごく良かった。涙が出ました。(支援者)

令和5年度

北海道手をつなぐ育成会「定時総会」

「ご来賓出席のもと、集合方式にて！」

本年5月8日より、コロナ感染症が感染症法の5類相当に引き下げられたことを受け、5月25日(木)「かでる2・7」において、会場への集合方式によって、4年ぶりとなる、ご来賓の出席もいただきながら、標記の総会が開催されました。

出席状況は総数77育

成会のうち、会場出席31、委任状での出席42、合計では73育成会となり、会員総数の過半数を大きく超え、総会は成立。会場狭しと、育成会の代表者、理事、監事等の役員を含め、総勢51名が終始、熱心に議論に参加。

議長には「北広島市しょうがい児者を持つ親の会会長 加藤裕子様」、議事録署名人名には「札幌市手をつなぐ育成会副会長 中島紀久代様」「江別市手をつなぐ育成会理事長 東



則子様」が選出され、令和4年度の活動報告、令和5年度活動方針が全会一致で可決、承認。最後に役員推薦者全員の了承を経て閉会しました。



歩みを止めず！

道手をつなぐ育成会定時総会

【会長 挨拶】



佐藤 春光

本総会に沢山の皆様のご出席をいただきました。また、本年はご来賓の皆様をお迎えすることもできました。感謝を申し上げます。同時に皆さんと共に喜び合いたいと思います。

さて、コロナ感染症は様々な行動制限により、私たちの活動に大きな困難を突き付けました。しかし、そうした中でも、本日お越しいただいている道教委へは、他の当事者団体と共同し、コロナの影響を最小限に、子どもたちの学ぶ環境づくり、特に特別支援学校における教室の狭小化の改善をお願いしました。

また、道保健福祉部へは「(社福)にしおこっぺ福祉会」が運営する障がい者支援施設「清流の里」における虐待事案、さらに、「(社福)あすなろ福祉会」が知的

障がい者に不妊処置を求めた問題に対し、障がい者の人権に係る重大な事案として、本会としての「声明文」をお届けし、同時に道が実施するアンケートの作成に協力をさせていただきました。皆様には要望を受け止めていただき、この場をお借りし、改めて感謝を申し上げます。本日は一



年間の活動方針を議論する大切な会議、どうかよろしくお願い致します。

道育成会定時総会に寄せて

【ご来賓 挨拶】(要旨)



河谷 篤様

北海道保健福祉部福祉局
障がい者保健福祉課
精神医療担当課長

道では「第6期北海道障がい福祉計画」のもと、希望するすべての障害者が安心して暮らせる社会づくりをめざし「障がい者の自立と社会参加の促進」「就労支援施策の充実・強化」等に取り組み、ライフステージに応じた切れ目のない支援体制づくりを推進しているところです。今後も障がいのある方々が、希望する地域で暮らしながら、意欲や障がい特性に応じた地域活動が保障される社会の実現をめざし、皆様と取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



北海道教育庁学校教育局
特別支援教育担当局長

堀籠 康行様

道教委では本年3月に令和5年度から5年間を計画期間とする新たな「特別支援教育に関する基本方針」を策定しました。

障がいのある子どもと、ない子どもが共に

学ぶ、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念の下、全ての子どもたちが障がいの有無にかかわらず、多様な個性を互いに認め合い、支え合いながら、共に学んでいくことができる環境を調整し、誰もが生き生きと活躍できる社会が実現できるように特別支援教育を推進していくこととしています。

そのため、通常学級の教員も、特別支援教育に関する理解や、知識を深め、支援を必要とする子どもが、どの学びの場においても、専門的な指導や支援を受けられるよう、教員養成大学との連携や、計画的な研修の充実を図ります。

また、幼児期から卒業、就労まで切れ目のない支援を図るため、オンデマンド動画の作成等も盛り込みながら保護者への情報提供に力点を置きます。ご理解とご協力をお願い致します。

【総会における決議事項】（一部を紹介）

第4号議案

令和5年度 事業計画
活動の重点（6項目）

1. ブロック体制の確立と活動の充実・強化
2. 育成会活動活性化の推進
3. 他機関、他団体との連携強化
4. 障がい理解と合理的配慮の普及・啓発活動の推進
5. 本人活動への支援

貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,928,713	3,505,348	△576,635
未収金	356,800	272,600	84,200
前払金	6,900	27,380	△20,480
流動資産合計	3,292,413	3,805,328	△512,915
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(2)特定資産			
夢基金	3,523,532	3,523,472	60
財政調整基金	24,316,526	24,316,284	242
特定資産合計	27,840,058	27,839,756	302
固定資産合計	28,840,058	28,839,756	302
資産合計	32,132,471	32,645,084	△512,613
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	51,700	44,905	6,795
預り金	129,181	125,879	3,302
流動負債合計	180,881	170,784	10,097
負債合計	180,881	170,784	10,097
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	27,840,058	27,839,756	302
正味財産合計	31,951,590	32,474,300	△522,710
負債及び正味財産合計	32,132,471	32,645,084	△512,613

令和4年度 決算書(予算対比正味財産増減計算書)
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:円)

科 目	全 会 計		
	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	0	302	△302
受取会費	3,110,000	3,065,570	44,430
事業収益	700,000	775,400	△75,400
受取補助金等	8,107,000	6,486,720	1,620,280
受取委託費	9,050,000	9,050,000	0
機関紙頒布収入	3,354,000	3,216,760	137,240
雑収益	110,000	111,816	△1,816
経常収益計	24,431,000	22,706,568	1,724,432
(2)経常費用			
事業費	15,299,000	13,639,802	1,659,198
職員費	5,017,000	5,158,002	△141,002
賃金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	10,000	33,730	△23,730
旅費交通費	500,000	603,550	△103,550
通信運搬費	250,000	397,619	△147,619
手数料	20,000	2,970	17,030
消耗品費	70,000	74,060	△4,060
印刷製本費	1,010,000	1,257,564	△247,564
助成金	6,830,000	4,581,854	2,248,146
研修費	200,000	138,453	61,547
委託費	132,000	132,000	0
管理費	9,263,000	9,589,476	△326,476
職員費	2,341,000	2,338,930	2,070
退職給付費用	180,000	179,760	240
福利厚生費	30,000	7,169	22,831
会議費	85,000	179,527	△94,527
旅費交通費	1,000,000	1,092,760	△92,760
通信運搬費	300,000	249,028	50,972
手数料	70,000	46,861	23,139
消耗品費	4,180,000	4,375,233	△195,233
使用料・賃借料	400,000	385,563	14,437
租税公課	0	600	△600
負担金	550,000	595,200	△45,200
委託費	77,000	77,000	0
雑費	50,000	61,845	△11,845
経常費用計	24,562,000	23,229,278	1,332,722
評価損益等調整前当期経常増減額	△131,000	△522,710	391,710
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△131,000	△522,710	391,710
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△131,000	△522,710	391,710
一般正味財産期首残高	0	32,474,300	△32,474,300
一般正味財産期末残高	△131,000	31,951,590	△32,082,590
II 正味財産期末残高	△131,000	31,951,590	△32,082,590

6. 育成会「広報・情報・芸術・スポーツ活動」の推進

サポートの目的達成にお力を

道サポート協会定期総会

【会長 挨拶】



ご来賓の皆様にはご多用の折、本会総会へご出席をいただき、心より感謝申し上げます。

今まではコロナの影響で事業の延期や中止が続きました。今後はコロナとの共生に向けた日常が始まるように感じます。以前のような対面での研修会や事業を通じて、サポート協会の目的である障がいのある方と、そのご家族の生活の安定、福祉の増進に寄与して参ります。

より一層のご理解とご協力をお願いします。

事務局より「社員総数77名中、会場出席者30名、委任状出席者42名、計72名。過半数以上の出席があり、本総会は成立」との報告がなされました。また、議長には「しらおい障がい者手をつなぐ会長 熊谷延代様」、議事録署名人には「札幌市手をつなぐ育成会 副会長 中島紀久代様」「江別手をつなぐ育成会 理事 東則子様」が選出され、議事が進行。全ての提案が原案通り可決されました。なお、総会に先立ち、ご来賓を代表し「A

令和5年度 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位:円)

科 目	全 会 計		
	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	3,050,000	3,110,000	△60,000
事業収益	700,000	700,000	0
受取補助金等	7,962,000	8,107,000	△145,000
受取委託費	11,350,000	9,050,000	2,300,000
機関紙頒布収入	3,182,000	3,354,000	△172,000
雑収益	110,000	110,000	0
経常収益計	26,354,000	24,431,000	1,923,000
(2)経常費用			
事業費	18,354,000	15,299,000	3,055,000
職員費	6,649,000	5,017,000	1,632,000
賃金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	604,000	500,000	104,000
通信運搬費	250,000	250,000	0
手数料	20,000	20,000	0
消耗品費	70,000	70,000	0
印刷製本費	1,010,000	1,010,000	0
助成金	6,649,000	6,830,000	△181,000
研修費	1,700,000	200,000	1,500,000
委託費	132,000	132,000	0
管理費	10,098,000	9,263,000	835,000
職員費	2,850,000	2,341,000	509,000
退職給付費用	252,000	180,000	72,000
福利厚生費	50,000	30,000	20,000
会議費	177,000	85,000	92,000
旅費交通費	1,110,000	1,000,000	110,000
通信運搬費	300,000	300,000	0
手数料	70,000	70,000	0
消耗品費	4,199,000	4,180,000	19,000
使用料・賃借料	413,000	400,000	13,000
負担金	550,000	550,000	0
委託費	77,000	77,000	0
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	28,452,000	24,562,000	3,890,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,098,000	△131,000	△1,967,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,098,000	△131,000	△1,967,000
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	△2,098,000	△131,000	△1,967,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	△2,098,000	△131,000	△1,967,000
一般正味財産期末残高	△2,098,000	△131,000	△1,967,000
II 正味財産期末残高	△337,000	△515,000	178,000

I G 損保(株)札幌支店支店長北川様・「(株)ジェイアイシー」代表取締役社長渡辺様」のお二方よりご祝辞をいただきました。



【総会における決議事項】(一部を紹介)

第4号議案

令和5年度 事業計画

3・助成事業の充実

- (1)研修会等を道育成会と実施。
- (2)当事者の作品発表の場としてカレンダーの作成及び、販売を道育成会、事業所協

4・研修事業

議会と連携し実施。

- (1)道育成会が実施する研修事業へ協賛、助成し「生活サポート総合補償制度」の普及と加入者対応等業務に係る事務、人件費、所要分を負担。
- (2)「ひろげようみんなのわ」への助成。
- (3)関係機関と連携、協力し各種セミナーの開催。

(親なきあと・成年後見制度・障害年金等)

両総会終了後、それぞれに第2回理事会が開催され、道育成会会長には「佐藤春光氏」副会長に「畑中三岐子氏」「長江睦子氏」が、また、道サポート協会会長には、「畑中三岐子氏」副会長に「佐藤春光氏」「長江睦子氏」が選出されました。

第68回全道大会小樽大会『本人大会』

お待ちしております！



小樽手をつなぐ育成会
本人大会事務局

百合野 潔

8月6日(日)、「全道大会小樽大会」と同時開催される、障がい当事者の皆さんによる『本人大会』は今年で29回目を迎えます。

小樽の本人の会「小樽友だちの輪の会」は、しばらくの間、活動が休止状態となっていました。そこで昨年、小樽大会開催に向けた準備を進めようと、まずは新たなメンバーを募るところからスタートしました。

また、準備委員会として発足した会には「俱知安かがやきの会」の皆さんも参加していただき、一緒に準備を進めていく予定でしたが、コロナ感染症の影響もあり、顔を合わせることはとても難しい中、準備を進めなければなりません。

さらに、準備を始めた段階では、一年後のコロナの状況が全く想定できず、ハイブリッド開催で参加者上限100名を想定したのですが、小樽大会をきっかけに、今まで参加できず、残念な思いをしていた当事者の皆さんに、たくさん集まってほしいと今までの大会ではなかった内容を考えました。

それは本人大会会場における「シンポジウム」の他に、チャレンジド「体験してみよう！音楽療法」、思い出観光「小樽水族館ツアー」、「全道の本人会から寄せられたビデオレター

による大交流会」私たちの自慢・誇りに思っている事」などです。
大会は午前、午後の一日日程で準備を進めています。

《本人大会テーマ》

「コロナ禍だからこそ
仲間と共に支えあい輝ける未来を」

《本人大会スローガン》

- (1)「私たちの事を決める時は、私たち抜きでは決めないで」
- (2)「みんなで学び、みんなで考え、
われらの想いを運河の街小樽から」

コロナの影響で好きな外出ができなかった方、仕事でも生活でも様々な場面で我慢をし、苦労されてきたと思います。そんな中、多くの当事者の皆さんが悩みながらも頑張つてこられました。

今、やっとコロナの出口が見えてきました。全道の当事者と、ここ小樽の地で、共に学び、交流し合い、今後の仕事や暮らしに希望をもてるような有意義な一日になるよう準備を進めていきたいと思っています。



備を進めていきたいと思っています。

シンポジウムの「司会」務めます

ドキドキしながら お待ちしております



本人大会実行委員会

委員長 吉田 武

何年振りかの小樽での開催となります。

仲間も昔より変わりました。最近では、大会当日の進行がスムーズにいくよう考えています。また、支援者の方にエールをいただきながらコロナ禍の前みたいに活動したいです。

第68回北海道手をつなぐ育成会全道大会小樽大会の協力よろしく願います。また、全道の人との交流も楽しみにしています。多くの皆さんの参加お待ちしております。

今後の予定

7月11日(火) 第1回 広報・企画専門委員会
20日(木) 小樽大会 第4回実行委員会

《お知らせ》

本年4月より道育成会事務局長として勤務しておりました品田ですが、体調不良により、5月31日付で退職いたしました。後任には前事務局長であった樋口が務めます。

知的障がい児者・自閉症児者の 生活サポートは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就業に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康組合保険(無償型) 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T0633】

0120-322-150

平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523



弁護士が
全面的に
サポート

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

NPO法人エンジョイライフ

かつら共同作業所(就労継続支援B型) 定員 20名

〒049-3125 二海郡八雲町熱田43番地15

電話・FAX (0137)63-2925

Eメール enjoy-life01@rast.ocn.ne.jp

★主な作業

☆資源ゴミ回収

☆リサイクル

分別作業

☆除雪・排雪

☆一般廃棄物処理

☆公共施設清掃

☆草刈り

